

私たちは「こうありがたい！」と思いますが、そうでない現状というギャップに悩まされます。「苦しみ」とは辛いことの様に思います。私たちは苦しいことから目を背けてしまうことで、逃げてしまう様になります。現実と希望のギャップがあるから、苦しみになります。「なぜ？」から希望に持っていくことによって、現実から希望になります。何も疑問に思わずに、朝太陽がのぼり、どうせあなる！当然こうだろう！という「当たり前」になっていませんか？当たり前になると、問題に目を向けることは出来ません。しかし私たちは「なぜ？」と考える必要があります。また苦しみから何を学ぶことが出来るのでしょうか？苦しみを苦難にしているませんか？苦難はよくありません。苦難はヒモが絡んでしまっているようなものです。絡んだまま、一まとまりにしてしまいます。辛い事があると「どうせ私はダメだ」と思ってしまいます。そのことが続くから苦難になってしまいます。『詩 119：71 苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。』ダビデにとって苦しみにあうことは、「しあわせでした」と言いました。ダビデの一生を見ると、ほとんどの時、苦しい思いをしていたと思います。しかし苦しみを、苦しみとだけ思っていたわけでは、ありませんでした。苦しみからダビデは、学ぶことが出来ました。神様はいつでも良い神様です。『詩篇 23：4 あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。』ダビデは「あなたのむちと杖が慰めでした。」と言う事が出来ました。むちや杖は憎しみによってからではなく、してはならないことを教えるために使われます。でも辛い事があると私たちは、「どうせ私はダメだ」と思ってしまいます。神様は本当に私を愛してくださっているから、間違った道から戻すために、むちと杖を使われます。ベートーベンが運命を書いた時、「死のう」と思っていました。しかし、奇跡と期待を持って作曲していきました。耳が聞こえなくなってから「ダメ」だと思いませんでした。ベートーベンが「これがダメ」だから他の方法を探しました。そして素晴らしい曲を作曲することが出来ました。目が見えない方は、見えないけど感じる力があります。だから物に当たることはありません。この方法はだめと思っても、私たちが苦しい時に新しい生き方を神様によって見出すと、苦しみから奇跡を見出す事が出来ます。不足や苦しみではなく、希望を見てその人から溢れ出る事によって、他の人たちが神様を見ることが出来るようになります。神様は道を造られます。今までの歩みではなく、新しい道に進んで行かなくてははいけません。神様が与えてくださっていることを、無駄にしてはいけません。神様が与えてくださっている、いのちを無駄にしてはいけません。「どうせ私はダメだ」と思っていませんか？イエス様が私の為に死んでくださったことを知ることによって、私たちは変えられます。私たちが新しい道に歩めるようにイエス様は、十字架にかかってくださいました。逃避してしまうと苦難になってしまいます。私たちは何度も失敗を繰り返してしまっていますが、その中で苦しみの意味を知ること出来ます。希望の道にどのように歩むかを知ることが出来ます。ダビデも何回も失敗しました。しかし、彼は悔い改めることが出来ました。キリストの十字架に答えるには①**過去に縛られない！**十字架の奇跡は、過去を完璧に消え去らせたことです。『Ⅱコリント 5：17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。』重荷は、イエス様にあって取り去られました。私たちの重荷はもうありません！しかし、悪魔によってだまされ、悪いところを指摘されてしまいます。悪いところは悪い方向に導いてしまいます。そして悪い方向に進んでしまうと、苦難にあってしまいます。しかし神様の計画に立つことによって戻ることが出来ます。その悪いところを置いて、良いところに進んでいきましょう！私たちが何のために造られたかを見ていきましょう。そして過去に目を向けるのではなく、神様に目を向けていきましょう！②**苦難に陥らない！！**慰めのチャンスⅡコリント 1：6～10「どうせ」を捨てなくてははいけません。苦難の中にどのような慰めがあるかを知っていきましょう。御言葉を通して捨てる乗り越える気持ちを持っていくと、慰めを受け取ることが出来ます。あきらめないでいれば必ず慰めを受けることが出来ます。私たちは一人ではなく苦難を教会と共に共有することによって、苦難を乗り越えることが出来ます。苦しみがあると慰めと奇跡があります。私たちにとって試練はありますが苦難はありません。試練はテストなので必ずゴールがあります。試練は乗り越えられます。私たちは一人ではありません。私たちに救いと希望があります！③**キリストに生きる、裁かない！！**ローマ 14：1～9 私たちは苦しみの中にある人を見て、人のことを裁いてしまいます。裁かずにあなたに与えられた人生を無駄にしない様にしましょう。私たちは私たちを通して神様のすばらしさを表すために生きています。自分のために生きるではありません。神様はすばらしい栄光を、私たちを通してあらわしてください。苦しみの中にいるときが肝心です。乗り越える決心が大切になります。神様にあって私たちのマイナスは取り除かれていきます。人生に疲れを持っている人は、イエス様の言葉に耳を傾けていきましょう。イエス様は私たちを悩ませるため、十字架にかかったではありません。『マタイ 11：28 すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。』私たちを自由にするために、イエス様は十字架にかかってくださいました。(要約者：渡辺 将宏)